

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●西谷誠騎手がJRA障害通算1500回騎乗を達成

8月16日(土)の2回新潟7日・第9レースとして行われた新潟ジャンプS(J・GⅢ)でアサクサゲンキに騎乗した西谷誠騎手(栗東・中内田充正厩舎)は、この騎乗で史上5人目・現役2人目となるJRA障害通算1500回騎乗を達成しました。

●四位洋文調教師がJRA通算100勝を達成

8月16日(土)の1回札幌7日・第8レースではゼロスネークが1着となり、同馬を管理する四位洋文調教師(栗東)は、現役143人目となるJRA通算100勝(延べ1000頭目)を達成しました。

●佐々木晶三調教師がJRA全10場重賞制覇を達成

8月16日(土)の2回新潟7日・第9レースとして行われた新潟ジャンプS(J・GⅢ)ではインプレスが1着となり、同馬を管理する佐々木晶三調教師(栗東)は、史上8人目となるJRA全10場重賞制覇を達成しました。

●第15回ジョッキーズベイビーズ関東地区代表が決定

8月7日(木曜)、全国ポニー競馬選手権「第15回ジョッキーズベイビーズ」の関東地区代表決定戦が東京都世田谷区のJRA馬事公苑で実施され、増山そらさん(中学1年生)と榎木絆さん(小学5年生)が同地区代表に決定しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●北海道のミリオンクラウンがコスモス賞2着で札幌2歳Sへ

コスモス賞(2歳オープン、8月16日、札幌、芝1,800m)に出走し、3番人気に推された北海道所属馬ミリオンクラウン(牝、父リーチザクラウン)は、3番手前後から差を詰めて2着に入り、9月6日に行われる札幌2歳S(GⅢ)の出走資格を獲得しました。

●芝のオパールCは笠松のプチブラージュ【各地の主要3歳重賞】

オパールC(8月5日、盛岡、芝1,700m)は、3番手を進んだ7番人気の笠松からの遠征馬プチブラージュ(牝、父ストロングリターン)が直線の競り合いを制し、北海道在籍時の金沢シンデレラCに次ぐ重賞勝ち。岐阜金賞(8月11日、笠松、1,900m)は、中国から追いつけた7番人気の愛知所属馬サンヨウスフィータ(牝、父スマートファルコン)が4コーナー手前で抜け出し、8馬身差で圧勝。黒潮盃(8月13日、大井、1,800m)は、3番手から4コーナーで先頭に並んだ3番人気のマウンテンローレル(牝、父ヘニーヒューズ)が内で食い下がる2着馬をねじ伏せ、初の重賞制覇を果たしています。

●ブリーダーズゴールドCで連覇を目指すオーサムリザルト

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月28日、門別、2,000m)は、前走で初黒星を喫した昨年の覇者オーサムリザルトに、5戦全勝のダブルハートボンドが挑み、以下グランブリッジ、ライオットガール、サンオークレア(北海道)、マンマリアーレの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ジャックルマロワ賞〜ディエゴヴェラスケスがG1初制覇

現地8月17日にフランスのドーヴィル競馬場で行われたG1ジャックルマロワ賞(3歳上牡牝、芝1,600m)はC.スミヨン騎手が手綱を取ったディエゴヴェラスケス(牡4歳、父フランケル、愛A.オブライエン厩舎)が先行策から残り100mで先頭に立って優勝しました。日本から参戦したゴートゥファーストとアスコリピチェーノはそれぞれ5着、6着でした。勝ったディエゴヴェラスケスは7月のG2ミントレルS(芝1,400m)からの連勝でG1初制覇です。

●G2ギョームドルナノ賞〜アロヒアライが逃げ切り勝ち

上記したG1ジャックルマロワ賞の前日に同じドーヴィル競馬場で行われたG2ギョームドルナノ賞(3歳、芝2,000m)はC.ルメル騎手を背に逃げたアロヒアライ(牡3歳、父ドゥラメンテ、美浦・田中博康厩舎)がG2コヴェントリーSの勝ち馬ラシャバーに3馬身半差をつけて優勝しました。アロヒアライは昨年11月に芝2,000mで新馬勝ち。今年は1勝クラス2着、弥生賞(GⅡ)3着の後、前走の皐月賞(GⅠ)は8着でした。

●G1インターナショナルS〜オンブズマンが差し切る

8月20日にイギリスのヨーク競馬場で行われたG1インターナショナルS(3歳上、芝2,050m)はW.ビュイック騎手が手綱を取ったオンブズマン(牡4歳、父ナイトオブサンダー、J&T.ゴスデン厩舎)が差し切り勝ちを収めました。3馬身半差の2着にG1エクリプスSの勝ち馬ドラクロワ。日本から参戦のダノンデサイルは2番手から伸びを欠いて5着でした。オンブズマンは今年6月のG1プリンスオブウェールズS(芝1,990m)でG1初制覇。続く7月の前走G1エクリプスSはクビ差の2着でした。